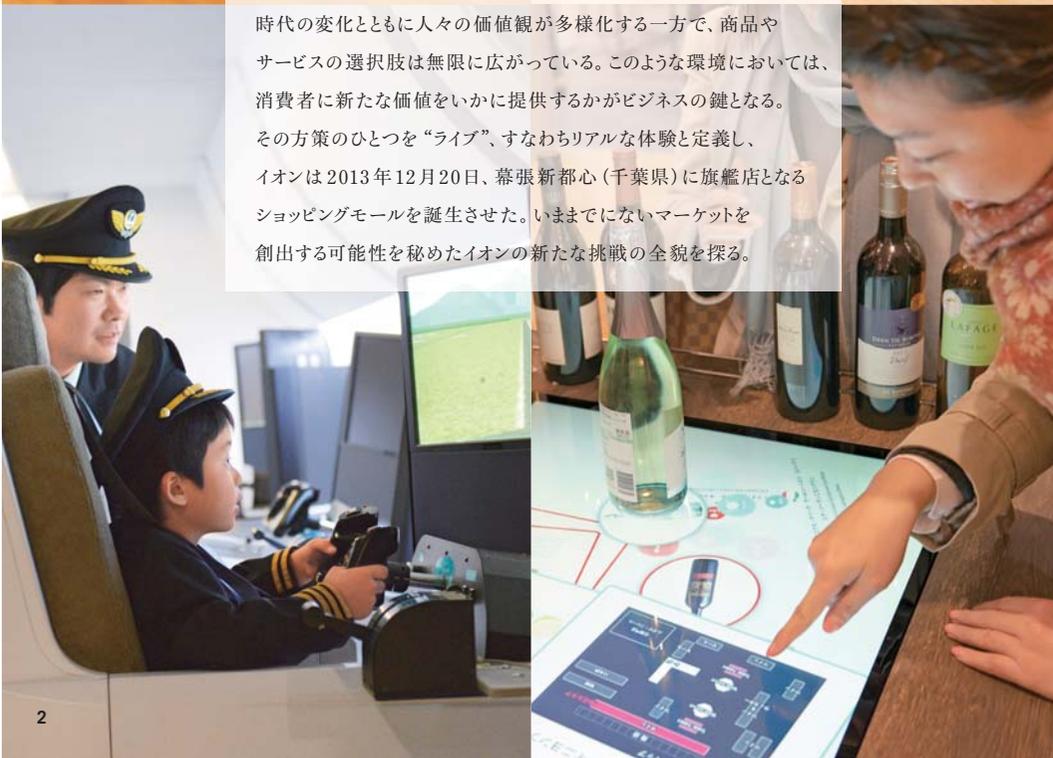




特集 “ライブ”で マーケットを創る。

時代の変化とともに人々の価値観が多様化する一方で、商品やサービスの選択肢は無限に広がっている。このような環境においては、消費者に新たな価値をいかに提供するかがビジネスの鍵となる。その方策のひとつを“ライブ”、すなわちリアルな体験と定義し、イオンは2013年12月20日、幕張新都心(千葉県)に旗艦店となるショッピングモールを誕生させた。いままでにないマーケットを創出する可能性を秘めたイオンの新たな挑戦の全貌を探る。



買物百景

第四景

お得な買物体験

運動不足解消に、すっかりご無沙汰となっていたゴルフを再開することにした。しかし若い頃に使っていたゴルフクラブはどうもしっくりこないで買いに出かけることに。新しくできたショッピングモールには、スポーツ専門のモールまであるというから驚きだ。

そこで何本かのクラブを見比べ、店員を呼ぼうとしたとき、見知らぬ人が声をかけてきた。「そのクラブ、すごく飛距離が伸びますよ。うれしそうに話す彼は、私と同じ来店客らしい。購入前に試し打ちをしたことも教えてくれた。専門知識を持つ店のスタッフが付いてサポートやアドバイスしてくれるそうだ。

実際にボールを打ってみるとそのクラブが自分に合っているかどうかよくわかり、お気に入りの一本を手に入れることができた。試し打ちをするだけでも相当気分転換になるものだ。私は、話しかけてくれた彼にお礼を言い、思い切って「今度、打ちっ放しでも一緒にどうですか」と誘ってみた。店での試し打ちという体験に加え、新しいゴルフ仲間もでき、何だか得をした気分だ。店をあとにした。



Illustration by SACHIKO IKOMA

AEON Magazine February 2014 Vol.44

contents

- 01 買物百景
- 02 特集
“ライブ”でマーケットを創る。
Interview 交流から生まれる新たな価値
石井淳蔵 流通科学大学 学長
Introduction 価値観やライフスタイルの
多様化に応える新たな提案
Live Experience ショッピングモールを消費から体験の場へ
Creation 新たなネットワーク・
コミュニティが生み出すもの
Future 国際都市にふさわしい
ショッピングモールを目指して
- 12 暮らしの風流
- 13 植樹本数1,000万本突破 これからもお客さまとともに
- 14 AEON SUSTAINABLE ACTIVITIES 環境保全・社会貢献活動
- 15 GROUP NEWS
- 17 グループ企業一覧



Illustration by HATSUKI MIYAHARA

カラフルで明るい色彩とのびやかなフォルムが特徴のイラストレーター。特集に合わせて、次世代ショッピングモールでのライブ感あふれるイメージを多層的に表現。

発行日：2014年2月28日
発行所：イオン株式会社
コーポレート・コミュニケーション部
〒261-8515
千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
TEL：(043) 212-6061
ホームページ：http://www.aeon.info/

この冊子はイオンの情報誌です。
Aeon(イオン)はグループの総称です。
本誌上における社外からの寄稿や発言は、
必ずしも当社の見解を表明していません。



いま必要なのは、
企業と生活者の交流

流通業界の変遷を見ると、3つの時代に分けられると思います。第一は「大量販売」の時代。総合スーパーに代表されるように、いち早く土地を確保し、多店舗で展開、そして規模によってコストを削減して利益をあげる。つまり、多くの資源を所有し、それを活用して成長していく時代です。第二は「多頻度小ロット高精度」の時代。少量多品種の商品を発売して市場調査を行い、生活者の傾向やニーズを見極めてから、売れる商品を売れる量だけ生産し、市場に出すという仕組みがつけられました。当時、私はこれ以上のビジネスモデルはないと思っていました。しかしながら、それだけではうまくいかなかった。経済が成熟し、商品や情報があふれ、生活者のニーズが見えにくくなった現代は、交流やコミュニケーション、共感といった他者との関係性が重要になる「社会性」の時代と言えます。

まだ顕在化していないニーズ、すなわち「いまはない何か」を創意工夫によって具現化し、新たな価値を提供していくことこそ、企業が生き残る術となるのです。

コミュニケーションから生まれる想定外の現実こそが、「いま」を打開するきっかけになる

ここでポイントとなるのがコミュニケーションについての考え方です。これがある親子のやり取りに置き換えてみましょう。風邪をひいた母親が娘に「風邪薬を買ってきて」と声をかける。すると娘はただ薬を買って手渡すだけでしょうか。「大丈夫？お医者さんに診てもらおう？」といった問いかけをするでしょうか。母親は薬がほしかっただけかもしれないが、二人のコミュニケーションの結果生まれるのは、病院に行くという現実かもしれません。コミュニケーションとは、自分が思ったことを相手に伝え、相手がそのとおりに反応してくれる、という単純な意思疎通のことではありません。お互いが相手を気遣い、相手の反応に応じて発言や行動が変化していく、新しい現実が生み出されることです。

コミュニケーションにおいて、お互いが情報を出し合い、状況に応じて変化していくことで、新たな現実をつくり出す、さらにそれに応じて双方が変化していく、これをマーケティングでは、「創造的適応」と言います。企業と生活者の関係においても、この「創造的適応」が必要になっているのです。コミュニケーションによって生み出される、いわば想定外の現実が、「いまはない何か」を生み出すきっかけになっていくのだと思います。

共感が結びつける 地域社会と企業

最近、小売の店舗でも、よいコミュニケーションが生まれていて感じます。店舗の従業員と生活者の間に存在していた、立場の違いという壁がなくなってきた、からでしょう。店舗で働く地元のお母さんの方々はもちろん、お客さまの感覚をそのまま商品開発や品揃えに反映することで、共感が生まれ、地域の仲間になっていく。「社会性」にもとづいた小売のあり方と言えるでしょう。

イオンには、こうした地域社会との共感から生まれるコミュニケーションづくり、店舗づくりに長けている企業という印象があります。単に店舗をつくってものを売るのでなく、新たな国で事業を展開する際には、その地域文化を大切にしながら地域の一員になっていこうという意識が高い。植樹活動、教育支援などの取り組みも然りです。地域や生活者に寄り添う力がイオンの一番の強みと言えるでしょう。

このようなスタンスは、ビジネスにおいては遠回りのように思われるかもしれませんが。しかし、いま、この時代を生き抜く企業には必要なものではないかと感じています。

Interview

交流から生まれる 新たな価値

商品や情報があふれ、必要なものが簡単に手に入る現代は、顧客が本当に望んでいるものを提供できなければ企業が成長を続けることは難しい時代だと言える。そのなかで生き残っていくために、企業は何をすべきなのだろうか。マーケティング分野において、ビジネスの現場に即した研究を行う流通科学大学学長の石井淳蔵氏にお話をうかがった。



PROFILE 石井淳蔵

いしい・じゅんぞう
流通科学大学 学長。専門はマーケティング、マーケティングマネジメント、流通システム論など。2012年11月より日本マーケティング学会会長（初代）も務める。

一人ひとりの「夢中」が生まれる場所。」に

2013年12月、千葉県千葉市にイオンの旗艦店「イオンモール幕張新都心」がオープンした。「グラウンド」、「ファミリー」、「アクティブ」、「ペット」の4つのライフスタイルモールで構成され、その共通コンセプトは「夢中」が生まれる場所。イオンのオムニチャネル化への取り組み1号店として、コト、そしてネットも活用し、体験を重視した次世代ショッピングモールだ。キーワードは、「コト・モノ・ネット」イオンのオムニチャネル。同モールには、体験という要素を提供するさまざまな企業の新業態店舗や、日本初上陸の店舗が軒を連ねる。核店舗のひとつ、イオンの総合スーパー「イオン幕張新都心店」も衣食住の全フロアを「AEON STYLE STORE(イオンスタイルストア)」として、オムニチャネル化をはじめとする新たな取り組みを展開している。

なぜ、こうしたモールが生まれたのだろうか。イオンが積極的なモール開発を進めた2000年前後にメインターゲットとしていた世代は40〜50代を迎え、子育てのピーク期を脱しつつあり、これから時間に余裕が持てるようになっていく。また、その親世代は従来のシニアのイメージには当てはまらない多様でアクティブな生活を送る「G.G.※と呼ばれる人たちだ。こうした大人の世代が年を重ね、ライフステージが移行したことで、その価値観やニーズも変化している。これに対応するべく誕生したのが大人のための「グラウンドモール」だ。一方「ファミリーモール」には、子どもを中心に大人も一緒に楽しめるような提案が随所に見られる。さらに、物販から医療まで、ペットのすべてが揃う「ペットモール」、スポーツを楽しむ人のための「アクティブモール」と、対象ごとに異なる趣味や嗜好に徹底的に応えるモールをつくりあげた。ほかにはない、ショッピングモール体験の創造を目指して

「イオンモール幕張新都心」の開発・運営の中心的役割を担うのは、商業専門ディベロッパーであるイオンモール(株)。イオンの旗艦店を開発するに当たっては、施設的设计段階から店舗営業系の

Introduction 価値観やライフスタイルの 多様化に応える新たな提案

イオンがショッピングモール(モール)事業に取り組んで約40年。この間に人々のライフスタイル、消費に対する考え方は大きく変化。単なる生活必需品の購入ではなく、趣味やこだわりを満たすためにより多くのお金、そして時間が使われるようになった。こうした時代に求められるモールとはどのようなものだろうか。

スタッフも関わることで、魅力的な空間づくりが努めている。各モールには、「次世代エンターテインメントゾーン」「大人のホビーゾーン」といったゾーン設定も行っており、同社と出店企業との連携はもちろん、出店企業間の積極的なコラボレーションによる充実した空間づくりが実現している。例えば、「萬屋書店」「JTBトラベルゲート」「島村楽器」「スターバックスコヒー」などが協力し、旅好きのお客さまのニーズに応えるための空間を提案。特定の目的を持った人々を呼び込み、新たなマーケットを創造しようという試みだ。

また、幕張新都心エリアには幕張メッセ(コンベンション施設)やQVCマリンフィールド(野球場)などがあり、日本はもちろん、海外からの集客も可能だ。同モールは、これらの周辺施設と連携し、モールとエリア両方の魅力を向上させ、人々の回遊性を高めることで、地域活性化に貢献することも目指している。

こうした数々の挑戦を通じ、イオンは時代の一步先を行くモールの展開し

※G.G(グラウンド・ジェネレーション)：グラウンドは最上級を意味し、シニアを人生のなかでも最上の世代と捉えた考え方





1.「みらいやのもり」のこどもキッチン
2.「スポーツオーソリティ」のクラブの試し打ちコーナー
3.「スカイパーク」のちびっこリング

Live Experience

ショッピングモールを消費から体験の場へ

ショッピングモール(モール)を訪れる人々の目的は、いまや買物にとどまることはない。楽しい時間を過ごしたい、何か新しいものに会いたい、といった期待に応えるため、「イオンモール幕張新都心」は、ここにしかない“ライブ”感のある体験を提供する。

いま、そこでしか味わえない
「ライブ」感

「イオンモール幕張新都心」では、360ある専門店のうち、約1/3が体験型。いま、そこでしか味わえない「ライブ」感を提供している。「グランドモール」にある大人のためのフードコート「ライブキッチン」もそのひとつ。1,500席もの客席のなかに飲食店を配置し、厨房はガラス張りに。間近に見ることのできる調理風景や湯気、立ちのぼる香りが、料理の待ち時間さえわくわくした楽しい時間に変えてしまう。ここではアルコールメニューも取り揃え、食事とお酒をゆったりと楽しめる空間となっている。

子どもたちに好評なのがイオンの書籍専門店(株)未来屋書店による「キッズゾーン「みらいやのもり」」「未来屋書店」のなかに、知育玩具やお絵描きを楽しめる場が用意されており、夢中で遊ぶ子どもたちの様子を親や祖父母が見守るやさしい時間が流れる。「ファミリーモール」には、子どもたちを中心に家族

日本最大級の体験型スポーツモール「アクティブモール」では、自転車の試乗、ゴルフクラブやバットなどの試し打ちも可能。専門知識豊富な販売員や常駐する元プロアスリートのスタッフからのアドバイスで買物の満足度を高めている。フットサルコート、全天候型インドアテニススポーツ施設、モールの周りに設定されたランニングコースの利用者のためのランニングステーションも完備。一度来店すれば、試して、買って、実際にスポーツを楽しむことのできる環境が整っている。



「ライブキッチン」では、ダイナミックな調理風景が五感を刺激

で楽しめる店舗が豊富に揃っている。(株)カンドウージャパンによる日本初出店の「Kando (カンドウ)」は、さまざまなお仕事体験ができるテーマパーク。レストランが併設された、大人も一緒に楽しめる施設だ。(株)栗山米菓の「ばかうけサーカス」ではせんべいの手焼き、「Izzaland Tokyo」ではピザづくりも体験できる。また、体験型エンターテインメントミュージアム「東映ヒーローワールド」では、東映(株)が作品製作に使用した貴重なグッズや特撮ヒーローになれるアトラクションを用意。休日には家族の思い出づくりに一役買うことだろう。

買物と買物の合間に癒しやくつろぎを

「イオンモール幕張新都心」では、癒しやくつろぎの時間も重視している。

幕張新都心エリアの海の見える景観と緑の木々を楽しみながらのんびり散歩できる「グランドモール」周辺の遊歩道「グリーンウォーク」や、子どもたちが楽しめる「ファミリーモール」の屋上公園「スカイパーク」など、買物を目的としていなくても、気軽に来店し、思い思いの時間を過ごせる環境づくりを進めている。

Voice

「イオンモール幕張新都心」のお客さまの声

- ・遊ぶところがいっぱいある本屋さんが楽しかったです。(お子さま)
- ・体験できる仕掛けが多くて、子どもが飽きずに過ごせるのはありがたいです。
- ・広いモールですが、自分が見たい店が揃っているのでとても見やすいです。
- ・一日中いても飽きない楽しさがあります。タブレット端末も使いやすそうでした。





モールに集う人々がふれあえる、リアルな体験の場を提供

Creation

新たなネットワーク・コミュニティが生み出すもの

「イオンモール幕張新都心」では、総合スーパー「イオン幕張新都心店」を中心に、オムニチャネル化を推進。リアル店舗とネットの連携により、この地を訪れる人々の間に新たなコミュニティやネットワークの構築を目指していく。

コト・モノ・ネットの融合による

イオンのオムニチャネル

イオンは、お客さまと従業員が対面で接客するリアル店舗のサービスをもっと充実させる一方、ICT（情報通信技術）を駆使。店舗とインターネットを連携させた新しい買物体験サービスの提供を始めるなど、オムニチャネル化に取り組んでいる。モールの核店舗である総合スーパー「イオン幕張新都心店」では、イオンをいっばい楽しめる場所々をテーマに、コト・モノ・ネットの融合により、店舗を訪れる人々に新しい発見と驚きを提供する。イオンが目指すオムニチャネルとは、店舗とインターネットをシームレスにつなぎ、お客さまがイオンのあらゆる商品やサービスに触れる機会（チャネル）を増やすこと。

例えば、店内にあるタブレット端末で利用できる「タッチ・ゲット」サービスでは、店頭で品揃えのない

商品でも注文可能だ。商品は、店舗でも自宅でも受け取ることができる。端末に表示される人気ランキングやおすすめ商品など、ネットを通じて得られる情報をもとに、店舗の販売員から直接アドバイスを受けながら買物を楽しむこともできるだろう。

現在、ホーム・ファッション、ペビィ、リカー売場で展開しており、内容のさらなる充実を図りながら、約500店舗のイオンの総合スーパーに拡大していく予定だ。さらにグループのスーパーマーケットのマックスバリュや都市型小型スーパーまいばすけっと、コンビニエンスストアのミニストップでの商品受け取りも可能になる見込みだ。

また、「イオンお買物アプリ」にある「撮って！インフォ」サービスでは、スマートフォンをPOPなどにかざすだけで、買物に便利なレシピが表示される。同アプリは、今後、ネットスーパーとの連動やお買得情報の配信、駐車場検索サービスなどが加わり、さらに充実したものになる

という。

コト・モノ・ネットの融合によるイオンのオムニチャネル化は、リアル店舗をもつイオンならではの強みをいかにしながら、さらなる進化を遂げるだろう。

集う人たちがつくり出す
新たなネットワークが
地域を活性化

「イオンモール幕張新都心」は、エンターテインメントも充実している。イオンエンターテイメント(株)が運営する「イオンシネマ」では、映画はもちろんスポーツやコンサート

がその場で感動を共有できる企画も積極的に開催。吉本興業(株)による「よしもと幕張イオンモール劇場」では、お笑いや音楽ライブ、番組連動イベントを実施する。その場でしか味わえない体験を重視する同モールのコンセプトに合わせ、芸人やタレントが講師となって行うカルチャースクールも継続的に開催している。

こうした体験型イベントに集う人々に加え、周辺に設定された「幕張稲毛シーサイドランニングコース」を利用するランナーや、モール内のスポーツ施設の利用者などがリアルにつながり、新たなコミュニティやネットワークが構築されるだろう。

さらに、幕張メッセをはじめとする周辺施設と連携し、野外フェス、花火大会などのイベントを盛り上げることで、そこを訪れる人々との継続的なつながりも生まれる。こうした人々のニーズに対応しながら、ショッピングモールは常に変化し、地域とともに成長を続けていく。

Voice

連携によって幕張新都心エリアを活性化



松山 瑞穂氏

千葉市 総合政策局 総合政策部長

千葉市では、2013年4月に幕張新都心室を新設し、積極的にエリアの活性化を推進しています。「イオンモール幕張新都心」開業を契機にイオンの協力を得て、コミュニティサイクル「マックル」

の導入やランニングコースの設定なども実施してきました。市民はもちろん、このエリアを訪れる方々がより楽しめるまちになるよう、これからもイオンからの提案や協力を期待しています。



- 1.「イオンお買物アプリ」の「撮って！インフォ」でレシピを入手
- 2.「タッチ・ゲット」サービスで快適に買物

ココがポイント

陰と陽を表す太極図をモチーフにしたカーブの仕切り



中国

古くから親しまれる「火鍋」で使う「陰陽鍋」

「火鍋」では、スタンダードな丸鍋に加えて仕切りのある「陰陽鍋」が多く使われています。すべてのものは陰と陽に分けられるという思想にのっとり、2種類のスープを同時に楽しめる形状です。

暮らしの風流 食す 鍋

● なべ

日々の暮らしのなかで心に潤いをもたらしてくれる雑貨には、次世代に受け継いでいきたい。伝統や文化が息づいています。日本、中国、ASEAN地域の、魅惑の品々。今回は、各国で使われている「鍋」を紹介します。

タイ マレーシア シンガポール ASEAN各国で親しまれる「スチームポット」

「スチームポット=蒸気鍋」という名は、煙突型の形状によるもの。日本のしゃぶしゃぶ鍋にも似ており、ともに中国の鍋「火鍋子(ホーコーツ)」に由来するとも言われています。



ココがポイント

中央の煙突で、表面積を増やし熱効率を向上

日本 さまざまなサイズが揃う「土鍋」

土鍋が食卓に登場したのは江戸時代中期。一般に広まったのは割れにくい「萬古(ばんこ)焼」が量産された昭和時代に入ってからと言われています。1人分の炊飯専用土鍋などもあり、サイズや種類も豊富です。



ココがポイント 高い蓄熱効果でゆっくり加熱し、素材のうまみを引き出す

Future

国際都市にふさわしい ショッピングモールを目指して

海外からの観光客の増加が見込まれる幕張新都心エリア。「イオンモール幕張新都心」は、文化や習慣の異なる外国からの来訪者のさまざまなニーズに対応。さらに、海外への情報・文化の発信につながる取り組みも推進していく。

国際都市・幕張新都心から 海外へ

幕張新都心は、成田、羽田の両国際空港から車で40〜50分とアクセスに恵まれたエリア。団体客を含め、今後海外からの来訪者数の増加が見込まれる。周辺の宿泊施設では客室の増室を計画するなどの対応を始めており、エリア全体で観光客の受け入れ態勢強化に向けた環境整備が進んでいる。「イオンモール幕張新都心」では、お祈りする場を必要とされるお客さまのための祈祷室も完備。今後はさらに、多様な文化や宗教への対応も強化していく。一方で、同モールに出店する企業が、日本国内はもちろん、成長するアジア市場に展開していくことを視野に入れた新たな取り組みも行っている。「グランドモール」内にある、「クールジャパン」をテーマとする店舗を集めた「ジャパンポップジャングル」がそれだ。アニメやゲームなどの日本のポップカルチャーは海外からの注目度も高い。ここで

業態を確立し、近い将来、中国やASEAN諸国のモールへの出店を果たす企業が出てくることだろう。イオンは、日本ならではの文化やビジネスをより魅力的なカタチで海外へと発信するための試みに挑戦している。

地域特性に合わせ、体験型ショッピングモールは進化する

「イオンモール幕張新都心」はこうした新たな挑戦を結集した次世代ショッピングモールではあるが、これが完成型ではない。ライブ、体験を通じて生まれるお客さまのニーズを取り込むことで新たなマーケットを創造し、地域とともにモールを進化させていく。本年秋に開業予定の「イオンモール岡山」をはじめ、それぞれの地域特性に合わせながら、今後さらに進化したモールが生まれていくことだろう。



AEON SUSTAINABLE ACTIVITIES

サステナブル(持続可能)な社会を目指して。地域の皆さまとともに、環境保全・社会貢献活動を行っています。
(2013年10月～12月)

環境保全

3年計画の「綾町イオンの森」植樹をスタート

11月23日、(公財)イオン環境財団は宮崎県の綾町で同町とともに約20種5,000本の苗木を植樹しました。同財団は、宮崎県、綾町、宮崎中央森林組合と「綾町イオンの森」整備保全協定を締結。「ユネスコエコパーク」にも登録されている同町の日本最大規模の照葉樹林を守るため、3年で約1万5,000本の植樹を計画しています。



地域のボランティアの方々と500人が参加

授業体験やホームステイなどを通じ日本とミャンマーの高校生が交流

イオン1%クラブは、1990年から継続する「ティーンエイジ・アンバサダー事業」をミャンマーでも実施。日本の高校生20人による8月の同国訪問を受け、10月にはミャンマーの高校生20人が来日しました。首相官邸訪問、駐日ミャンマー連邦共和国大使館での歓迎会、沖縄での首里城見学などの文化体験、授業体験やホームステイを通じて相互理解を深めました。同事業には、これまでに16カ国1,256人の高校生が参加しています。



歓迎会でミャンマーの民族舞踊を披露する高校生の皆さん

カンボジアで、イオンの奨学金制度「イオンスカラシップ」をスタート

イオン1%クラブは、次代を担う優秀なアジア各国の大学生に対して奨学金を付与する「イオンスカラシップ」を、新たにカンボジアにおいてスタート。11月13日に認定授与式を行いました。2006年にスタートした同事業による奨学生は、今回の対象者を含めて6カ国32大学2,802人にのぼります。



カンボジアの学生に認定証を授与

社会貢献

フィリピンでの台風被害復興に向けて緊急災害復興支援金および募金を寄付

台風30号により、フィリピンにおいて甚大な被害が発生したことを受け、イオンは11月11日、緊急災害復興支援金として駐日フィリピン共和国大使館へ1,000万円を寄付しました。さらに、同月13日から24日、グループの店舗・事業所約8,000カ所で災害支援募金活動を実施。被災地の復旧・復興に役立てていただくべく、お客さまから寄せられた4,800万3,806円とイオン1%クラブからの拠出金合計1億円を同大使館に寄付しました。

3.11 復興への願いをカタチに

イオンは、被災地の復興と「夢のある未来」の実現に向け、お客さまと手を携え、さまざまな取り組みを行っています。

「東北復興ふるさとの森 苗木の里親キャンペーン」をイオンモール幕張新都心で開催

イオンは、東日本大震災で大きな被害を受けた三陸沿岸部の海岸林に植樹する苗木を、日本全国のお客さまに育てていただくキャンペーンを実施しています。11月27日にはイオンモール幕張新都心

の植樹祭に合わせ、5回目となるキャンペーンを行い、約3,000本の苗木をお配りしました。復興への願いを込めて育てていただいた苗木は、1年半後に三陸沿岸部に植樹する予定です。



苗木約3,000本をお客さまに配布



植樹本数1,000万本突破 これからもお客さまとともに

1989年、東西ドイツの壁が崩壊。21世紀の社会の課題は「東西問題」から「南北問題」となり、その解決のキーワードは「環境」であるとイオンは考えました。小売業として何ができるのか。その答えがお客さまとともに植樹活動でした。



お客さまとともに
これまでも、これからも
イオンは新しい店舗を出店するたび、「イオンふるさとの森づくり」という植樹活動を実施しています。お客さまと直接ふれあうことのできる小売業の特徴をいかし、地域のお客さまに呼びかけ、ともに木を植えてきました。20年以上前から続けているこの活動と、(公財)イオン環境財団による植樹を合わせた累計植樹本数が、2013年に1,000万本を突破。ご参加いただいたお客さまは、のべ100万人にのぼります。しかし、1,000万本はひとつの通過点。イオンはこれからも、日本で、世界で、命あふれる森を未来の子どもたちにつなぐため、お客さまとともに木を植え続けます。

イオンの植樹活動

「イオン ふるさとの森づくり」の第1号は、1991年、マレーシアのジャスコマラッカ店(現 イオンマラッカショッピングセンター)でした。以来、店舗はもちろん、物流センターなどの新設時にも実施しています。植樹は、植生学の世界的権威である宮脇昭横浜国立大学名誉教授のご指導のもと、その地域の潜在自然植生に合わせて実施。環境問題の解決を目的に設立された(公財)イオン環境財団では、環境保全に取り組み団体などへの支援・助成に加え、中国での「万里の長城・森の再生プロジェクト」などを通じ、世界各国でボランティアの方々とともに植樹を行っています。

1,000万本はほんの通過点。
これからもお客さまとともに
木を植えていきます

イオン株 名誉会長相談役
(公財)イオン環境財団 理事長 **岡田 卓也**



植樹した木々の手入れを行う「育樹祭」も継続的に開催

GROUP NEWS

2013年10月 >>> 12月

Corporate Initiatives

約1,100種類のワインが揃う「イオンリカー自由が丘店」オープン

イオンリカー(株)は、旗艦店「イオンリカー自由が丘店」(東京都)をオープン。日本最大級の約1,100種類のワインを揃え、ソムリエなどの専門知識豊富な従業員による提案や、最新のデジタル技術を通じてワインの魅力やPR。同時にワイン販売専門サイト「AEON de WINE」もオープンし、リアル店舗とEコマースの連動によるオムニチャネル化を推進します。



「イオンリカー自由が丘店」のワインサーバー

10.16

Corporate Initiatives

創業30年を迎えた㈱ツヴァイ、初の路面店をオープン

㈱ツヴァイは初の路面店として、情報発信機能を強化した「ツヴァイ八重洲」(東京都)をオープン。11月に創業30年を迎えた同社は、徹底したお客さま視点での結婚支援サービスを展開していきます。



ツヴァイ八重洲

11.22

11.1

Corporate Initiatives

ファッションと生活雑貨専門店の新業態「FT」誕生

イオンタウン吉川美南の核店舗として、新業態の専門店「FT(エフティ)」が誕生しました。ファッションと生活雑貨をスタイル別にワンフロアで展開し、カフェや子どもたちが絵本などを自由に楽しめる「子どもラウンジ」も併設。トレンドを楽しむつつ、家族でつるがる居心地よい空間を提案します。



新業態の専門店「FT(エフティ)」

Global Initiatives

中国・蘇州にマックスバリュ1号店を開店

永旺美思佰樂(江蘇)商業有限公司(マックスバリュ江蘇)は、中国江蘇省の蘇州市に1号店「マックスバリュ楽園店」を開店。毎月11日の「イオン・デー」の取り組みや「買物袋持参運動」なども実施していきます。蘇州市エリアを中心に展開し、地域のお客さまの暮らしに貢献するスーパーマーケットを目指します。



マックスバリュ楽園店

Corporate Initiatives

10週連続、週替わりでサプライズを届ける「AEON SPECIAL 10WEEKS!」を展開

2013年11月1日より2014年1月13日までの10週間、グループ過去最大規模の企画「AEON SPECIAL 10WEEKS!」を展開しました。イオンのポータルサイト「イオンスクエア」にも特設サイトを開設し、「LINE」[®]も活用してリアル店舗とネットを結び、オムニチャネル化を推進。週替わりで新しい商品やサービス、ライフスタイルを提案しました。



※LINE 版による無料通話・無料メールアプリ

Corporate Initiatives

イオンリート投資法人が上場

イオンリート投資法人が東京証券取引所に上場。同投資法人は、イオンの大型商業施設などを投資対象とする小売業初の不動産投資信託(J-REIT)です。資産運用会社であるイオンリートマネジメント(株)は、同投資法人とともにイオンの総合力を活用することにより、投資主価値の最大化を目指します。イオンはグループをあげて、ショッピングセンターをはじめとする商業施設のいっそうの収益力向上を図ります。

Global Initiatives

「Mollyfantasy」400店舗突破を記念し、「子どもスタッフ」お仕事体験プログラムを実施

(株)イオンファンタジーが展開する室内ゆうえんち「Mollyfantasy(モーリーファンタジー)」の店舗数が400店舗を突破しました。これを記念して小学生を対象に「子どもスタッフ」お仕事体験プログラムを実施。日本、中国、マレーシア、タイの各店舗で603名が参加し、接客や店内アナウンスなどを体験しました。



店内アナウンスを体験
「Mollyfantasy 天津泰運店」(中国)

11.23

Corporate Initiatives

イオンカルチャー(株)が事業を開始

イオンカルチャー(株)は、グループ各社からカルチャークラブなどの教室運営を継承し、事業を開始しました。趣味や余暇に関連したコト消費に対するニーズが高まるなか、同社はイオンならではの新たなカルチャー教室業態の確立を目指します。



イオンカルチャークラブ葛西店



イオンのボージョレ・ヌーヴォー販売本数は世界最大級の約135万本に。

11.30

12.1

12.26

グループ企業一覧

太字は株式公開会社 ○は持分法適用関連会社 ●は友好提携会社

(純粋持株会社)

- イオン株
- (GMS (総合スーパー) 事業)**
- イオンリテール株
- 株タイエー
- イオン北海道株
- 株サンデー
- イオン九州株
- 株アシーネ
- 株アルティファーズ
- イオンバイク株
- イオンペーカリー株
- イオンリカー株
- イオン琉球株
- 株オレンジファードコート
- 株鹿児島サンライズファーム
- 株グルメシティ関東
- 株グルメシティ近畿
- 株ジョイ
- 株消費経済研究所
- 株ダイエースペースリイェイト
- 株トップバリュコレクション株
- 株中合
- 株日本流通リース
- 株ビッグ・エー
- 株ビッグ・エー関西
- 株ファンフィールド
- 株ボンテ
- 株ボンベルタ
- 株マルシェ
- 株ロジワン
- 株口ベリア
- 株OPA
- 株テンダイ

(SM (スーパーマーケット) 事業)

- マックスバリュ中部株
- マックスバリュ西日本株
- マックスバリュ東北株
- マックスバリュ東海株
- マックスバリュ北海道株
- マックスバリュ九州株

- 株マルエツ
- 株いなげや
- 株カスミ
- 株ベルク
- イオンマーケット株
- 株クリエイト
- 株光洋
- 株山陽マルナカ
- マックスバリュ関東株
- マックスバリュ北東北株
- マックスバリュ長野株
- マックスバリュ北陸株
- マックスバリュ南東北株
- 株マルナカ
- 永旺美思倍乐 (广州) 商业有限公司
- 永旺美思倍乐 (江苏) 商业有限公司
- 永旺美思倍乐 (青岛) 商业有限公司
- イオンエブリ株

(DS (ディスカウントストア) 事業)

- イオンスーパーセンター株
- イオンビッグ株

(戦略的小型店事業)

- ミニストップ株
- オリジン東秀株
- ネットワークサービス株
- まいばすけっと株
- 株れこっず
- MINISTOP KOREA CO., LTD.
- 青島迷你島便利店有限公司

(ドラッグ・ファーマシー事業)

- 株CFSコーポレーション
- ウエルシアホールディングス株
- 株メディカル光
- 株ツルハホールディングス
- 株クスリのアオキ
- シミズ薬品株
- タキヤ株
- 株フェルパーク
- 株ザグザグ

(総合金融事業)

- イオンフィナンシャルサービス株
- AEON 信託財務 (アジア) 有限公司
- AEON THANA SINSAP (THAILAND) PLC.
- AEON CREDIT SERVICE(M)BERHAD
- イオンリート投資法人
- 株イオン銀行
- イオンクレジットサービス株
- イオン少額短期保険株
- イオン住宅ローンサービス株
- イオンプロダクトファイナンス株
- イオン保険サービス株
- イオン・リートマネジメント株
- エー・シー・エス債権管理回収株
- ACS CAPITAL CORPORATION LTD.
- AEON Insurance Service (Thailand) Co., Ltd.
- ACS SERVICING(THAILAND)CO.,LTD.
- ACS TRADING VIETNAM CO.,LTD.
- AEON CREDIT SERVICE INDIA PRIVATE LIMITED
- AEON CREDIT SERVICE (PHILIPPINES) INC.
- AEON CREDIT SERVICE SYSTEMS (PHILIPPINES) INC.
- AEON Leasing Service (Lao) Company Limited
- AEON MICROFINANCE(CAMBODIA)PRIVATE COMPANY LIMITED
- AEON MICROFINANCE (MYANMAR) CO.,LTD.
- AEON MICRO FINANCE (SHENZHEN) CO.,LTD.
- PT.AEON CREDIT SERVICE INDONESIA
- 沈阳金融商贸开发区永旺小额贷款有限责任公司
- 台湾永旺財務服務股份有限公司
- 台湾永旺信用卡股份有限公司
- 天津永旺小额贷款有限公司
- 永旺保險顧問 (香港) 有限公司
- 永旺金融服務 (香港) 有限公司
- 永旺信用担保 (中国) 有限公司
- 永旺資訊服務 (深圳) 有限公司

(ディベロッパー事業)

- イオンモール株
- イオンタウン株
- AEON MALL (CAMBODIA) CO., LTD.
- AEON MALL (GUANGDONG) BUSINESS MANAGEMENT CO., LTD.
- AEON MALL (HUBEI) BUSINESS MANAGEMENT CO., LTD.
- AEON MALL VIETNAM CO., LTD.
- PT.AEON MALL INDONESIA
- PT.AMSL INDONESIA
- 永旺夢乐城 (江苏) 商业管理有限公司
- 永旺梦乐城 (中国) 商业管理有限公司
- 永旺梦乐城 (中国) 投资有限公司
- 永旺梦乐城 (浙江) 商业管理有限公司

(サービス事業)

- イオンデライト株
- 株イオンファンタジー
- 株ツヴァイ
- 株イオンイーハート
- イオンエンターテイメント株
- イオンカルチャー株
- イオンコンパス株
- イオンデライトアカデミー株
- イオンデライトセキュリティ株
- イオンデライトセレス株
- エイ・ジー・サービス株
- 株カジタク
- 環境整備株
- 関東エンジニアリング株
- 株ジェネラル・サービシーズ
- 株ドゥサービス
- リフォームスタジオ株
- Aライフサポート株
- FMSソリューション株
- AEON DELIGHT (MALAYSIA) SDN.BHD.
- AEON DELIGHT (VIETNAM) CO., LTD.
- AEON Fantasy Holdings(Thailand)Co.,LTD.
- AEON FANTASY (MALAYSIA) SDN.BHD.
- AEON Fantasy (Thailand) Co.,LTD.
- ZWEI(THAILAND)CO.,LTD.
- 大连东软信息服务有限公司
- 苏州上品洗涤服务有限公司
- 苏州仲联物业管理有限公司
- 永旺幻想 (中国) 儿童游乐有限公司
- 永旺一心餐饮管理 (青岛) 有限公司
- 永旺永乐 (杭州) 服务外包有限公司
- 永旺永乐苏房 (苏州) 物业服务有限公司
- 永旺永乐泰达 (天津) 物业服务有限公司
- 永旺永乐 (中国) 物业服务有限公司
- 武汉小竹物业管理有限公司

(専門店事業)

- 株ジーフト
- 株コックス
- 株タカキュー
- アビリティーズジャスコ株
- 株イオンフォレスト
- イオンペット株
- 株イオンボディ
- クレアーズ日本株
- コスメーム株
- タルボットジャパン株
- ブランドシェス株
- 株未来屋書店
- 株メガスポーツ
- 株メガベト株
- ローラアッシュレイジャパン株
- AT ジャパン株
- 美嘉 (上海) 商贸有限公司
- 羅蘭愛思亞洲有限公司
- 美嘉斯波 (北京) 商贸有限公司
- 新脚步 (北京) 商贸有限公司
- 台湾洛拉股份有限公司
- 泰波姿 (上海) 商贸有限公司
- 永娃 (北京) 宠物用品有限公司

(Eコマース事業)

- イオンダイレクト株
- イオンリンク株

(アセアン事業)

- AEON ASIA SDN. BHD.
- AEON Co.(M)Bhd.
- AEON BIG (M) SDN. BHD.
- AEON (CAMBODIA) Co.,LTD.
- AEON(Thailand)CO., LTD.
- AEON VIETNAM Co., LTD
- PT.AEON INDONESIA

(中国事業)

- 永旺 (中国) 投资有限公司
- 永旺 (香港) 百货有限公司
- 广东永旺天河城商业有限公司
- 青岛永旺东泰商业有限公司
- 永旺华南商业有限公司
- 永旺华东 (苏州) 商业有限公司
- 永旺 (湖北) 商业有限公司
- 永旺商业有限公司

(機能会社等)

- 株やまや
- イオンアイビス株
- イオンアグリ創造株
- イオングローバルSCM株
- イオン商品調達株
- イオントップバリュ株
- イオンフードサプライ株
- イオンマーケティング株
- コルドンフェール株
- 株生活品質科学研究所
- 合同会社アミカス・ファンディング・コーポレーション
- AEON GLOBAL SCM SDN.BHD.
- AEON TOPVALU MALAYSIA SDN.BHD.
- AEON TOPVALU (HONG KONG) CO., LIMITED
- AEON TOPVALU (THAILAND) CO.,LTD.
- Tasmania Feedlot Pty. Ltd.
- 永旺環球 (北京) 国际货运代理有限公司
- 永旺特慧優国际贸易 (上海) 有限公司
- イオンデモンstrationサービス南

- イオン1%クラブ
- (公財)イオン環境財団
- (公財)岡田文化財団
- AEON教育及環境基金

2013年11月末現在



5. (Japan) イオンモール東久留米 Aeon Mall Higashi-Kurume 6. (Japan) FT 吉川美南店 FT Yoshikawa-Minami store
7. (Japan) サイクルテラス幕張新都心店 Cycle Terrace Makuhari New City store 8. (Japan) マックスバリュ桑名新西方店 Maxvalu Kuwana-Shin-Nishikata store